

2019 年度 小委員会活動成果報告

(2020 年 2 月 3 日作成)

小委員会名	室内音響小委員会	主 査 名：石渡 智秋 就任年月：2017 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学本委員会 (音環境運営委員会)	委員長名：持田 灯 主 査 名：羽入敏樹
設 置 期 間	2019 年 4 月 ～ 2023 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	・室内音響学に関する知見や技術を広く一般の建築に供することにより、快適で安全、安心な生活空間の創造を目指す。 ・音環境啓発に関する情報収集 ・目的を達成するための WG 設置と、WG の活動に対するサポート ・成果公表の準備	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：石渡智秋 (永田音響設計) 幹事：青木亜美 (日建設計)、服部暢彦 (永田音響設計) 委員：李 孝珍 (東京大学)、池上雅之 (大林組)、上野佳奈子 (明治大学)、大久保洋幸 (NHK)、川井敬二 (熊本大学)、佐久間哲哉 (東京大学)、佐藤史明 (千葉工業大学)、清水 寧 (Sound/Form Design Lab)、志村留美子 (日本設計)、羽入敏樹 (日本大学)、宮崎秀生 (ヤマハ)	
設置 WG (WG 名：目的)	・インパルス応答予測・計測 WG：明瞭度指標 STI に関するベンチマーク問題検討 ・子どものための音環境 WG：子どものための空間に必要な音環境性能の把握 ・室内音響啓発コンテンツ企画WG：室内音響をより広く浸透させるための実効的なコンテンツやイベントの検討、具体化のための体制や方法の検討	
2019 年度予算	40,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス：インパルス応答予測・計測 WG http://news-sv.aij.or.jp/kankyo/s24/benchmark/index_j.html

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物	
講習会	
催し物	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1.ビル認証システムにおける室内音響関連の情報収集、日本における室内音響の設計指針作成に向けての議論を行い、さらに設計指針検討を進めるための WG の発足を決定した。 2.子供のための WG では、保育施設における音環境上の問題点やニーズの把握等の検討を行い、学校施設の AIJES 改定への協力につなげた。 3.インパルス応答 WG では、今までの成果のシンポジウムでの発表に向けて準備を実施した。 4.室内音響啓発コンテンツ企画 WG では、コンテンツ等の具体化にむけての検討を進めることができた。
委員会活動の問題点・課題	特になし

2019 年度 小委員会活動 自己評価

(~~中間年度評価~~・最終年度評価)

総合評価 (4 段階評価)	A
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	小委員会では、安全・快適な音環境が実現されるように、広く社会に吸音啓発を促すことを目的として、その推進方法等について活発な議論および検討が行われた。その一つとして、海外規格における室内音響に関する設計指針や、ビル認証システムについての情報収集等を行った。設計指針については日本においても参考にできる内容であること、また検討課題なども議論された。ビル認証システムについても、吸音促進が社会に広まる一つの機運ともなることも考えられた。日本における同様な指針を検討するための WG を発足させることも決定した。また、各 WG からの報告については意見交換等を行い、適切なサポート活動を行うことができていると考える。 以上のように、着実に目標達成に向けて成果をあげていると考える。

- 総合評価は 4 段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。